そうだ！ 市民活動 センターを活用しよう！

問 ながはま市民活動センター事務局
〈本庁舎３階〉
☎65-6525 FAX65-6571
✉katsudou@city.nagahama.lg.jp

実際に地域のなかで活動をスタートし発展させていくなかで、どのように支援制度やサービスを活用すれば良いのでしょうか。具体的な事例を利用者の声をまじえ紹介します。

各種人材育成講座やセミナーの開催

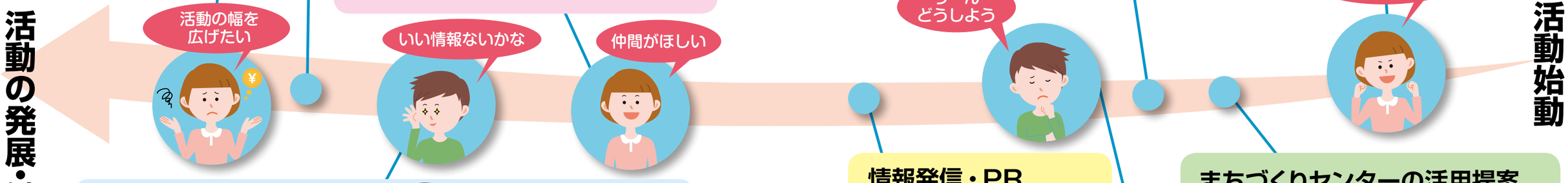
「自分のアイデアを形にしていく方法を身につけられ、また受講生との交流をきっかけに、地域の子どもの学習支援活動に参加し始めました。今は長浜に貢献したいとの思いも生まれ、公務員をめざしています」

受講者　大学生
馬淵達也（まぶちたつや）さん

連続講座「長浜暮らしデザインプロジェクト」のひとコマ

市民活動団体として登録受付

「私たちはこんな活動をしている」という自覚をもち、周囲に知らせる第一歩。現在108団体が登録しており、インターネットで一覧検索ができます。また登録団体にはセンターからの各種イベント、助成金情報等のお知らせも届きます。
登録についてはセンター事務局までお問い合わせください。



情報発信・PR

センターで集めた各種市民活動情報は、随時広報やホームページ、SNS等で発信しています。

センターだよりは広報ながはま毎月15日号裏面

「耕作放棄地の整備活動を続け10年、PRは自治会内程度が現状。広報紙での団体紹介記事は、市全域に知ってもらう機会になりました。地域外からの協力が活動継続へつながるので、今後は自ら積極的な情報発信も進めたいです」

池原の自然と環境を守る会
会長 田中正樹（たなかまさき）さん

まちづくりセンターの活用提案

上草野まちづくりセンターを会場にイベント開催

地域ごとの市民活動の拠点となるのがまちづくりセンターです。市内各地域に18施設あり、会合などの活動の場、人と人のつながりを育む場となります。

悩んだら、困ったら、コーディネーターへ

「地元女性12人でのカフェ運営について、活動計画の取りまとめ役をコーディネーターに依頼しました。希望や課題を書き出していくなかで個々の思いが目に見えて共有でき、新たな夢に向かって思いが一つになりました。今後もコミュニティビジネスの進め方など継続的な支援を期待します」

個々に得意分野をもつコーディネーターが臨機応変に対応

ブックカフェすくらむ（住暮楽）　服部貴美代（はっとりきみよ）さん

活動の発展・継続

助成金活用方法の相談・受付

活動が軌道に乗るまでの間、助成金の活用は有効な手段です。助成を行う機関・助成金額・対象事業などは様々にあるので自分たちの活動に適したものを選ぶことが大切です。

山門水源（やまかど）の森を次の世代に引き継ぐ会
副会長　村田良文（むらたよしふみ）さん

「山門水源の森を訪れた人へのガイド料金などを基本的な運営資金にする傍ら、市の市民活動団体事業支援の助成金採択を受け、主にシカから植生を守るための獣害ネットの購入に充てています。また県内外で募集している助成も活用することで、活動をより充実させています」

大型印刷・コピーサービス（有料）

イベントや講演会などで大判のポスターや横断幕が必要なときなど、市民活動に関する印刷ができます。印刷機の操作はおまかせください。
※大型印刷はセンター（本庁舎）のみできます。

「みんなでつながるひろば」の開催

このイベントに出展した
キッチン・キス　代表　井上淳子（いのうえじゅんこ）さん

「食育や特産品開発に取り組むなかで在住外国人と料理を通じた交流を模索していたので、関連団体と情報交換できたのが何よりでした。どの団体からも『長浜を活気のあるまちにしたい』との思いが伝わってきました。イベントはそんな思いのよりどころになったはずです」

情報提供

団体のイベント開催や講座のお知らせなど市民活動に関わる市内外の情報をとりまとめています。また「こんな活動団体を探している」といった場合も、市社協の登録ボランティア団体を含めて必要な情報を提供します。

長浜市民国際交流協会
スタッフ　長谷川幸子（はせがわさちこ）さん

「地域と在住外国人の交流機会として盆踊りを企画、音頭取りさんに来てほしいと、センターでの登録団体を紹介してもらいました。いろいろな人や団体と関わることは知恵も増えていくと思うので、今後も様々な場面で活用したいです」

人と活動の縁結び役として

滋賀県立大学地域共生センター
助教　上田洋平（うえだようへい）さん

道ばたのお地蔵さんに花が手向けられている。花を手向けている人は自身の安息のためのつもりでも、それを目にするだけで行き交う人の心は温かくなり、良いまちだなと感じるでしょう。

そのように、自分の持つモノや想いをその人なりのやり方で地域や隣人に捧げることができる人は、立派な「市民活動家」です。だとすれば、人材は長浜中にたくさん存在します。

面積が広く地域ごとに様々な特性がある長浜は、抱える課題も多様です。人材は豊かな一方で、年齢層や得意分野は、各地域の特性や課題に応じて偏っている場合もあります。そこで、市民活動センターには、個別の地域や活動の支援はもちろん、市域全体を見渡して人とその活動を把握し、それぞれの人がふさわしいトコロで、その存在やチカラを活かせるよう、バランスよく「縁結び」する機能も求められるでしょう。